

滝議第0530001号

令和7年5月30日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

総務教育常任委員会
委員長 齋藤 明



総務教育常任委員会所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を次のとおり終了したので、会議規則第77条に基づき報告します。

記

1 調査事件

ICT教育について

2 調査結果

別紙のとおり

1 調査事項

I C T 教育について

2 調査理由及びその目的

コロナ交付金により、児童生徒一人ひとりにタブレット端末が配付され、更には電子黒板も整備されたものの、その活用は不十分であり、特にもタブレット端末に関しては、家庭学習には活用されず、いまだに市教育委員会としては、研究中の状況と捉えている。加えて、この活用は学力向上や不登校対策にも有効と考え、調査するものである。

3 総務教育常任委員会委員

委員長 齋藤 明

副委員長 佐藤 澄子

委員 藤原 治、村木 香織、仲田 孝行、井上 仁、稻荷場 裕

4 調査内容

(1) 調査経過（関連資料は別添）

開催日等	内容
令和5年11月29日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 調査項目設定のための協議を行い、所管事務調査の候補を決定した。
令和5年12月8日（金） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査項目を決定した。また、調査項目設定シートを作成した。
令和6年1月30日（火） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 今後のスケジュールを改めて確認した。また、当局事務調査を行うことを決定し、聴取内容を協議した。

開催日等	内容
令和6年4月4日（木） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 <協議の概要> 市教育委員会事務局へ事前に送付していた確認事項に対する回答があったため、その内容について、確認及び協議を行った。 今後の現地調査等の方向性を協議した。
令和6年4月19日（金） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員 説明員： 教育次長 久保 雪子 学校教育指導課長 渡邊 康二	【当局事務調査】 <調査の目的> 市内小中学校におけるICT教育の現状及び課題を把握するため、事業担当課に対し説明聴取を行った。 <調査の内容> （学校教育指導課） ・学校現場におけるタブレット端末及び電子黒板等の活用状況 ・家庭学習等での活用状況 ・その他
令和6年5月23日（木） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 <協議の概要> 今後の調査方針を協議し、市内学校現場でのICT機器活用の実態把握に関する調査を優先することを確認し、市内小中学校への現地調査を行うことを決定した。
令和6年6月6日（木） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 <協議の概要> 市内小中学校の視察調査内容を協議し、令和6年6月10日（月）に滝沢中央小学校で実施される市内教員向け研修会「ICT教育研修会」について、現地調査を実施することを決定した。

開催日等	内容
令和6年6月10日（月） 場所：滝沢市立滝沢中央小学校 出席委員：6名（村木委員欠席） 説明員： 教育次長 久保 雪子 教育総務課長 滝田 俊一 学校教育指導課長 渡邊 康二	【現地調査】 <調査の目的> 市教育委員会並びに市内小中学校現場における取組や教員のI C T機器の活用状況等の実態把握を行う。 <調査の対象> 令和6年度滝沢市小中学校I C T教育研修会 ※当該研修会のほか、短時間ではあるが通常授業の見学も行った。
令和6年6月19日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：6名（井上委員欠席）	【委員会内協議】 <協議の概要> 学校現場の実態調査が更に必要であることを確認し、市内小中学校のうち複数への現地調査を行うこととした。 令和6年6月7日実施の議員研修会における内容を協議した。
令和6年7月3日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 <協議の概要> 令和6年6月7日実施の議員研修会内容を各委員で整理し、今後の所管事務調査に向けた協議を行った。 令和6年6月10日実施の現地調査のまとめ（振返り）を行った。 令和6年7月11日に予定している現地調査の内容を確認した。
令和6年7月11日（木） 場所：滝沢市立柳沢小学校 滝沢市立滝沢第二中学校 出席委員：6名（村木委員欠席） 説明員： 教育次長 久保 雪子 学校教育指導課長 渡邊 康二	【現地調査】 <調査の目的> 市内学校現場のI C T機器を活用した授業の実態把握を行う。 <調査の対象> 滝沢市立柳沢小学校及び滝沢市立滝沢第二中学校の通常授業

開催日等	内容
令和6年7月24日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 令和6年7月11日実施の現地調査のまとめ（振り返り）を行った。
令和6年8月22日（木） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 今後の所管事務調査に必要な調査及び手法について協議を行った。
令和6年10月24日（木） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：5名（井上委員、稲荷場委員欠席）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 8月22日に決定した必要な調査及び手法の内容を協議した。 令和6年11月20日に実施される滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業の現地調査を行うことを決定した。
令和6年11月6日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：6名（井上委員欠席）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業の現地調査内容を協議した。
令和6年11月13日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業の現地調査内容を協議した。 情報の少ない市内中学生からの意見をアンケートを用いて聴取することとし、詳細については市教育委員会と確認及び協議をすることとした。 現在調査を進めているICT教育について、政策提言の必要性等を様々な面から協議した結果、所管事務調査報告に留めることとし、今後報告書としてまとめていくことを決定した。

開催日等	内容
令和6年11月20日（水） 場所：滝沢市立滝沢第二小学校 滝沢市立滝沢第二中学校 滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員 説明員：なし ※主催事業対応のため、説明員対応はなしとしたが、調査時に対応が可能だった市職員（久保教育次長、渡邊学校教育指導課長）に適宜説明を受けている。	【現地調査】 ＜調査の目的＞ タブレット端末を使用した公開授業の現地調査を通して、ICT機器の利用環境、学習活動の充実（各教科におけるICT機器等の活用事例の把握等）及び教員のICT機器活用の実態を検証する。 ＜調査の対象＞ 滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業
令和6年11月27日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：6名（村木委員欠席）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 11月20日に行われた滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業のまとめ（振り返り）を行った。 また、市内中学生へのアンケート調査の実施を決定したことから、アンケート内容を協議した。
令和6年12月20日（金） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ アンケート内容案を協議した。 令和6年市議会議会報告会における本委員会に関係する意見等について、整理を進めて内容の協議を行うことを確認した。
令和7年1月20日（月） ～ 令和7年1月31日（金）	【アンケート調査】 ＜アンケートの目的＞ 滝沢市立中学校の1年生及び2年生を対象にタブレット端末を使用した家庭学習の利点や課題を明らかにするため。 ＜調査対象＞ 滝沢市立中学校の全中学校1年生及び2年生

開催日等	内容
令和7年3月25日（火） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：6名（仲田委員欠席）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 令和7年度当初予算審査で当局側から答弁のあったネットワークアセスメントの調査関係については、学校現場の環境整備の観点から確認が必要であるとして、当局事務調査を行うこととした。 また、令和7年1月20日から1月31日にかけて行ったアンケート調査結果内容を協議した。
令和7年4月9日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 当局事務調査の内容を協議した。 所管事務調査報告のまとめ方を協議した。
令和7年4月22日（火） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員 説明員： 教育次長 久保 雪子 教育総務課長 滝田 俊一	【当局事務調査】 ＜調査の目的＞ 市教育委員会が行ったネットワークアセスメント調査の結果から、今後の課題等を把握するため、事業担当課に対し説明聴取を行った。 ＜調査の内容＞ （教育総務課） ・ネットワークアセスメント結果 ・今後の対応 ・その他 【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 当局事務調査で確認できた内容を協議した。 所管事務調査の報告内容を協議した。

開催日等	内容
令和7年5月12日（月） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査の報告内容を協議した。 提出までのスケジュールを決定した。
令和7年5月19日（月） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査の報告内容を協議した。
令和7年5月23日（金） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査の報告内容を協議した。
令和7年5月26日（月） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査の報告内容を協議した。
令和7年5月28日（水） 場所：滝沢市役所 4階 第1委員会室 出席委員：全員	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査の報告内容を協議した。

（２）特記事項

ア 当局事務調査

（ア）現状把握【令和6年4月19日（金）】

- ①学校現場におけるタブレット端末及び電子黒板等の活用状況は、以下のとおりである。
 - ・本市のタブレット端末の利用状況は、推進体制の成果が出ていることから岩手県内では高いと捉えている。
 - ・電子黒板等の活用状況は、タブレット端末と併用して活用している。
 - ・持ち帰りは全校に推奨しているが、統一的な活用はしていない。
- ②家庭学習での活用状況は、以下のとおりである。
 - ・W i - F i 環境未整備の家庭もあり一斉の持ち帰りは実施されていないが、タブレット端末の持ち帰りは実施されている。
 - ・フレンド滝沢では、保護者への面接及び面談の際にタブレット端末を活用した

学習も可能と伝えている。

- ・家庭のW i - F i 環境の状況等を各学校に確認している。

(イ) ネットワークアセスメント結果等【令和7年4月22日(火)】

無線LAN調査において、教室の端で電波の出力が弱いケースや電波干渉が発生しているケースがあった。ほかの調査では、現状課題が見られなかったが、以下の内容が確認できた。

- ・国が示す学校規模ごとの推奨帯域の状況は、滝沢市内すべての学校において推奨帯域以上という結果であった。
- ・今後の対応は、現状の学校内における通信品質向上に向けて無線アクセスポイントの設定を変更するなど、無線環境の改善を予定している。
- ・各学校での体感調査上では、通信遅延等の不具合が報告されていることから、光回線の変更や追加によるインターネットの通信帯域を増強するなど必要に応じて優先区間の改善を検討している。
- ・タブレット端末の故障は、持ち帰りの際には少なく、授業中や教室移動の際に落とすなど、学校での故障がほとんどである。
- ・故障機への対応は予備機で行っているが、タブレット端末の使用の際、より一層大切に使うことの周知が必要と考えている。

イ 現地調査

(ア) 滝沢中央小学校の通常授業及び滝沢市小中学校ICT教育研修会

【令和6年6月10日(月)】

①通常授業

5・6年生の授業では、総合的な学習の時間でインターネットを活用して検索を行うとともに、電子黒板を活用して全員に内容が共有されていたが、以下の課題が確認された。

- ・起動に時間がかかるタブレット端末が見受けられた。
- ・児童のタブレット端末操作の習熟度に差が感じられた。
- ・電子黒板に不具合が生じていた。

②研修会

各小中学校における各種ICT機器を利用した学習の情報や指導状況等を共有することで、改善すべき課題として以下の点が確認された。

- ・W i - F i、電子黒板、タブレット端末の不具合の発生に対する対応。
- ・職員間で、ICT教育推進のための研修や打合せなど共有を図る時間を日常的に確保することが難しい。

(イ) 柳沢小学校及び滝沢第二中学校通常授業【令和6年7月11日(木)】

①柳沢小学校

- ・少人数学級のメリットが見受けられた。
- ・総合的な学習の時間では、タブレット端末と電子黒板を併用した授業が行われていた。

- ・タブレット端末の持ち帰りは実施していない。

②滝沢第二中学校

- ・通常授業ではグループ、個人それぞれに合った授業でタブレット端末をうまく活用していた。
- ・特別支援学級では、生徒一人ひとりの進捗に合わせた学習が進められていた。
- ・電子黒板の活用が見受けられなかった。

(ウ) 滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業

【令和6年11月20日(水)】

①滝沢第二小学校

- ・一部の児童のタブレット端末に起動の遅れが生じていたが、授業に問題はなかった。
- ・タブレット端末の操作にはまだ個人差はあるものの、以前の調査時より上達していた。

②滝沢第二中学校

- ・授業が始まる前に、タブレット端末の不具合があったが解消されていた。
- ・タブレット端末の操作に手間取る生徒はいなかった。
- ・オンライン授業を視野に入れた教員の研修が行われていた。

③両校共通

- ・デジタルとアナログをうまく組み合わせた学習指導が全体で共有されていた。

ウ 家庭学習におけるタブレット端末使用状況アンケート

(ア) 目的

滝沢市立中学校の1年生及び2年生を対象にタブレット端末を使用した家庭学習の利点や課題を明らかにするため。

(イ) 実施期間

令和7年1月20日(月)から令和7年1月31日(金)まで

(ウ) 結果

以下のとおり

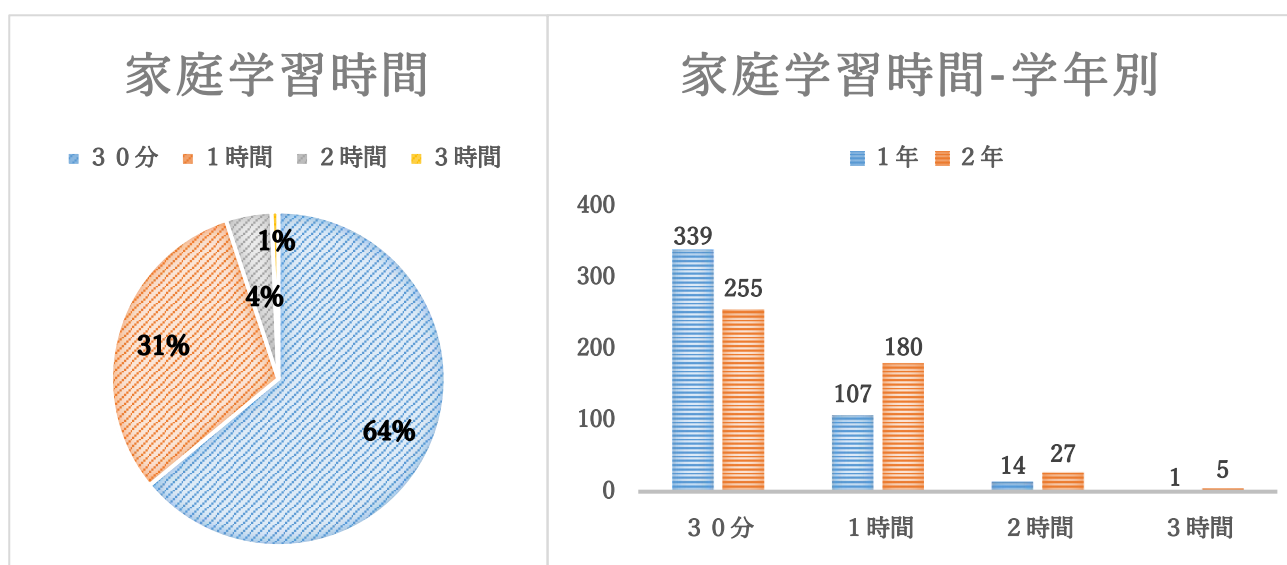
Q 1 あなたの学年を教えてください。

回答総数：928名（1年生：461人、2年生：467人）

Q 2 タブレット端末を持ち帰った時に、家庭学習に使用する時間は1日平均どのくらいですか？

	30分	1時間	2時間	3時間
合計	594	287	41	6

学年別	30分	1時間	2時間	3時間
1年	339	107	14	1
2年	255	180	27	5

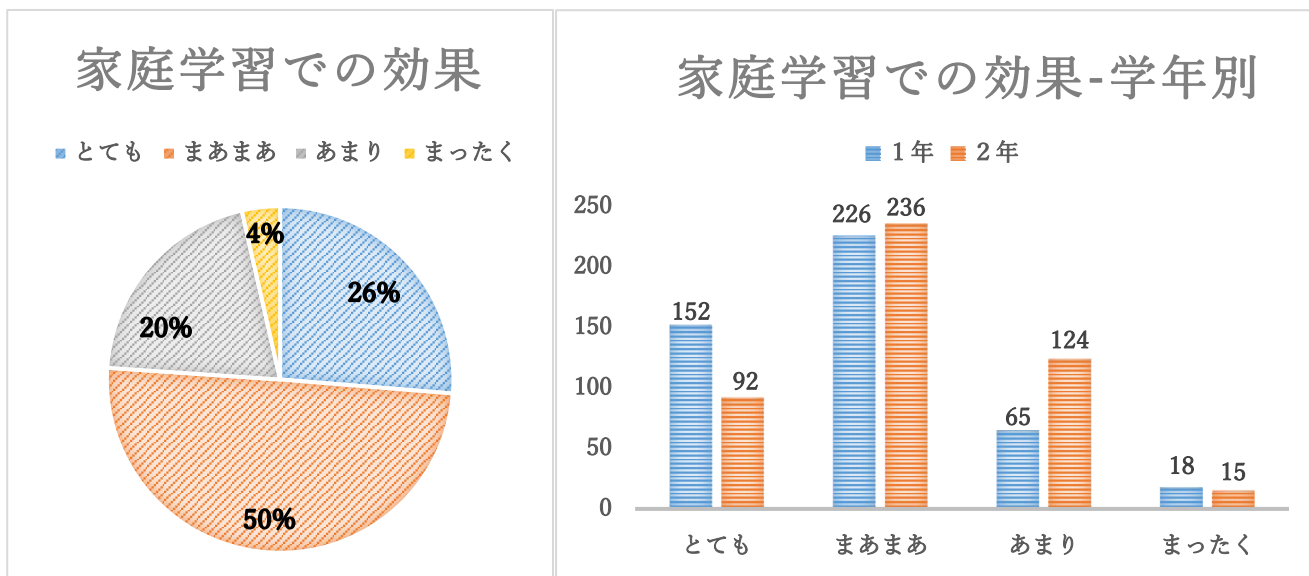


- ・全体で「30分」が64%、「1時間」が31%と合わせて95%を占めた。
一方、「2時間」「3時間」の生徒もいた。
- ・1年生と2年生との比較から、2年生になると30分学習より1時間学習が15%増え、さらに、2時間以上の生徒が約2倍に増えている。

Q 3 家庭学習でタブレット端末を使うと効果があると思いますか？

	とても	まあまあ	あまり	まったく
合計	244	462	189	33

学年別	とても	まあまあ	あまり	まったく
1 年	152	226	65	18
2 年	92	236	124	15

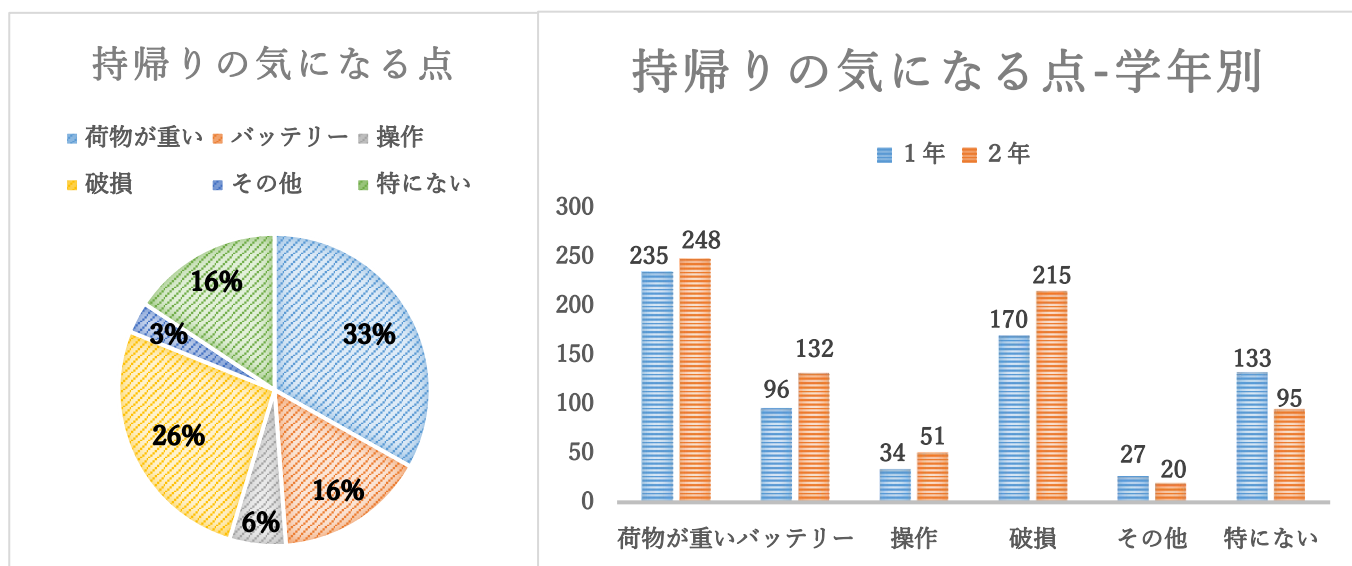


- ・全体で「とても思う」と「まあまあ思う」では、合わせて 76% と 3 / 4 以上の生徒が、効果があると回答している。
- ・学年比較では、1 年生の方が 12% 多かった。

Q 4-1 タブレット端末の持ち帰りについて気になる点がありますか？（複数選択可）

	荷物が重い	バッテリー	操作	破損	その他	特にない
合計	483	228	85	385	47	228

学年別	荷物が重い	バッテリー	操作	破損	その他	特にない
1 年	235	96	34	170	27	133
2 年	248	132	51	215	20	95



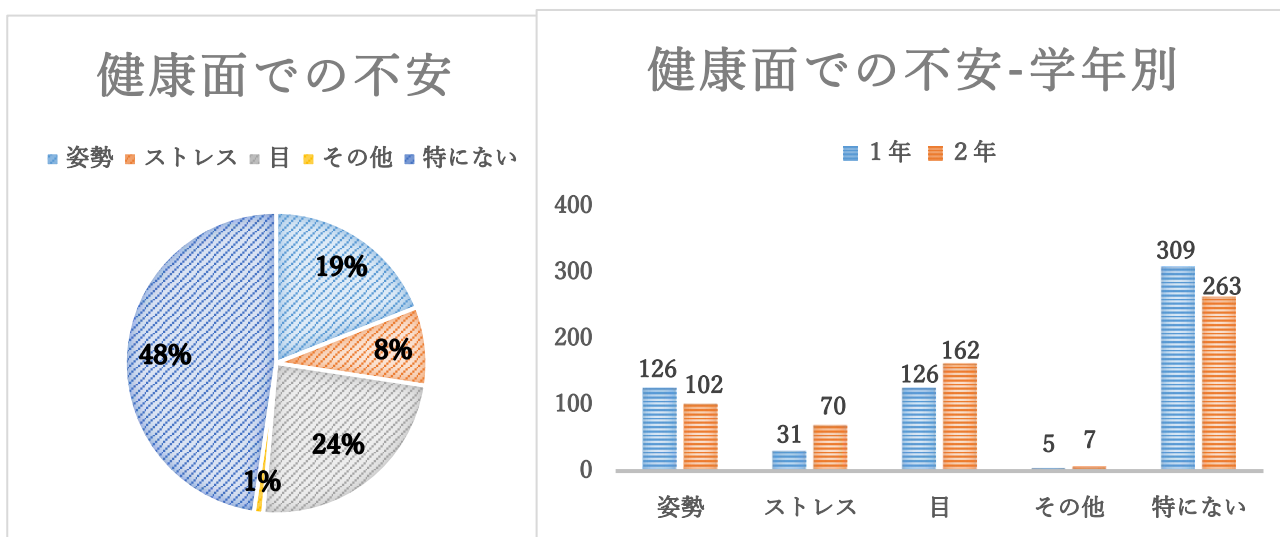
- ・多い順に「荷物が重い」「破損」「バッテリー」で、「荷物が重い」は3割を超える回答があった。
- ・学年比較では、「破損」は2年生の方が10%多い回答であった。

項 目	1 年生	2 年生	合計
アンケートQ4-2 「タブレット端末の持ち帰りについて気になる」質問—その他の回答			
○端末について	18	13	31
○持ち帰りについて	6	7	13
○その他	7	4	11
合計	31	24	55

Q 5-1 タブレット端末を利用することで健康面の不安はありますか？（複数選択可）

	姿勢	ストレス	目	その他	特にない
合計	228	101	288	12	572

学年別	姿勢	ストレス	目	その他	特にない
1 年	126	31	126	5	309
2 年	102	70	162	7	263



- ・多い順に「目」「姿勢」「ストレス」であった。
- ・学年比較では、2 年生が「ストレス」と「目」でそれぞれ 9 %、7 % と多く、これに対して「姿勢」に関しては、1 年生が 6 % と多い回答であった。

項 目	1 年生	2 年生	合計
アンケート Q5-2 「タブレット端末を利用することで健康面の不安」の質問—その他の回答			
○体調不良あり	2	2	4
○健康面の心配	0	3	3
○その他	0	3	3
○ない	1	0	1
合計	3	8	11

Q 6 どのような機能やサポートがあれば、タブレット端末をもっと活用できると思いますか？（自由回答）

項 目	1 年 生	2 年 生	合 計
アンケート Q6			
「どのような機能やサポートがあればタブレット端末をもっと活用できると思いますか」の回答			
○学力向上に向けた機能	13	11	24
○便利機能と備品	44	60	104
○Wi-Fi・ネット環境	13	5	18
○バッテリー関係	9	12	21
○健康管理	5	9	14
○タブレット端末の保護	5	6	11
○持ち帰りについて	11	4	15
○その他	11	13	24
合 計	111	120	231

5 考察

本市のICT教育は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、GIGAスクール構想に沿った環境整備を進めるため、令和2年6月会議で電子黒板やソフトウェア等一式と併せ、総額約5億円を予算計上し、その後、令和2年10月会議でタブレット端末5,141台の財産購入が可決され、児童生徒一人ひとりにタブレット端末を配付し本格的にスタートした。

GIGAスクール構想の環境整備が整い約3年が経過したが、導入した目的でもある災害時等のオンライン授業、通常授業等での活用などの「活用」に関する部分が、いまだ十分ではないと捉えた。

特にもタブレット端末の活用に関しては、家庭学習にどのように活用していくのか方向性が示されていないと危惧したところである。

以上の実態を踏まえ、学校の授業以外での活用も学力向上や不登校対策に有効と考え、これまでに行った調査結果に基づき、以下の3つの視点から考察する。

(1) 学校現場におけるタブレット端末等の活用

当局事務調査（令和6年4月19日時点）では、市教育委員会事務局担当課からタブレット端末の利用に関し、授業での活用を第一に考えていること、学校現場のICT環境における課題は無いと捉えていること、教員側のICT機器の操作スキルに差があるため研修会を開催すること、各学校において研究を進めているため、市教育委員会として統一的な活用方法等を求めていること、各家庭でのWi-Fi環境は把握していないこと等を確認した。

また、その後の令和6年6月、7月及び11月に複数の市内小中学校において、タブレット端末と共に電子黒板を活用した様々な教科の授業を現地調査し、児童生徒個々の差はあるものの、タブレット端末を活用した授業の有効性を確認することができたが、各学校において、教員全体のICT機器を効果的に活用するための技術向上を推進する立場の担当教員の苦悩が見受けられた。

さらには、学校内でのWi-Fi環境やタブレット端末の不具合もあり、その対応は、最終的な当局事務調査（令和7年4月22日）において、令和7年度以降の対応になることを確認した。

これらのことから、学校現場においては、以下の点が必要と考える。

- ①ジョイントアップ・スクール事業や各学校のICT担当教員等を通じて、各教員の技術向上を図り、授業におけるICT教育の充実を推進すること。
- ②令和6年度実施のネットワークアセスメントの結果を受け、各学校のWi-Fi環境の改善に努めること。

(2) 家庭におけるタブレット端末の活用

議会報告会（令和6年5月17日から7月13日まで）において、保護者や地域の方々から意見として、Wi-Fi環境をつくらなければならないのか、破損や故障時の費用は個人持ちなのか、メディア中毒になるのではなど学習以外での活用の心配、読書（紙の本）離れなどが上げられ、心配な点が明らかになった。

このことから、全中学校1年生及び2年生の生徒にアンケートを行った結果、家庭

学習での利用に効果ありと回答した生徒が3／4以上であり、家庭でのタブレット端末の積極的な活用を推進していくべきと捉えた。一方、議会報告会で報告された心配な点は1年後の本アンケート結果でもあまり改善が図られていないこと、新たな課題も確認されたこと、また、タブレット端末の家庭学習での活用は各学校で状況が異なることから、以下の点の配慮、充実が必要と考える。

- ①家庭でのW i - F i 環境の有無が学習に影響しないように対応すること。
- ②故意以外の故障等が個人負担にならないことを十分に説明し、理解を求めること。
- ③タブレット端末の充電に関する心配がないように配慮すること。
- ④上の①から③に加え、視力等健康面の心配事の解消のため、新たにI C T活用ガイドラインや支援・相談窓口の整備を進めること。
- ⑤校長会や研修などを通し、なぜ家庭での活用が必要なのかを共有し、学校間の対応が異ならないようにすること。
- ⑥教育機会均等の観点から、全学校共通の基本方針（例：週1回以上のタブレット端末の持ち帰り・家庭学習課題への活用など）を市教育委員会が明示すること。

（3）学力向上・不登校支援におけるI C T機器の活用

①学力向上への活用

市教育委員会としては、現時点でI C T機器の活用は、学力向上にどの程度寄与しているのか明確な成果指標や検証結果はなく、あくまで「学びの手段の一つ」としての位置づけであった。I C T機器を活用した学力向上に向けた「質と効果」の評価については今後の課題と考える。

②不登校児童生徒への支援

不登校児童生徒における家庭でのタブレット端末の活用は可能との市教育委員会の方針があるものの、実際は児童生徒・保護者からの希望が無く、利用されていないことが確認できた。今後、児童生徒の多様な学びの機会の選択肢を増やす必要があることから、タブレット端末を活用したオンライン授業等、有効な手段を検討すべきと考える。

以上で論じてきたように、学校現場において一人一台タブレット端末＋インターネット環境が整備された。G I G Aスクール構想の趣旨である“誰一人取り残さない”学びの保障を目指し、学校授業内外でI C T機器を活用した個別最適な学びの実現に向けて、市教育委員会と学校、学校と保護者、児童生徒と教員がそれぞれの教育環境に合わせ、連携した取組をより一層充実させていくことが重要と考える。

総務教育常任委員会

所管事務調査

【関連資料】

- No. 1 令和 6 年滝沢市議会議会報告会関係資料
- No. 2 令和 6 年度滝沢市小中学校 I C T 教育研修
会関係資料
- No. 3 滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・
スクール事業関係資料

令和 6 年滝沢市議会議会報告会（総務教育分野）

（１）目的

I C T 教育を進めるにあたり、議会報告会の機会を捉え、広く市民の意見を聴取し、家庭における不安や心配事等の実態を把握するとともに課題の抽出を行う。

（２）開催期間

令和 6 年 5 月 1 7 日（金）から 7 月 1 3 日（土）まで

（３）開催場所

市内小学校区（滝沢第二小学校・柳沢小学校・滝沢東小学校・滝沢小学校・鵜飼小学校・一本木小学校・滝沢中央小学校・篠木小学校・姥屋敷小学校）各所

（４）確認できた内容

タブレット端末を活用した学習に関する肯定的な意見は全体の 1 8 . 1 %であり、不安を感じる内容が多数を占める結果であった。しかし、その中には事前に学校から通知済みである機器の破損に関する内容のもの等もあり、情報提供の不備が要因のものもあった。主な内容は、以下のとおりである。

- ・使用時間や利用方法の管理について懸念する声があった。
- ・タブレット端末を活用した学習の効果は、学力向上に資するとの肯定的な意見が多かった。また、不登校児童生徒の学習にも有効と考える意見もあった。
- ・健康面の不安は、目の負担への懸念が最も多く、姿勢、精神、睡眠に影響があるのではないかとの意見もあった。
- ・そのほかに複数あった意見は、破損、重さ、W i - F i 環境、書くことや計算する能力の低下、親の対応の仕方に不安があるなどがあった。

総務教育常任委員会

所管事務調査

【調査項目】

ICT教育について

【サブタイトル】

タブレットの家庭学習の心配事は

【設定理由・目的】

児童生徒一人ひとりにタブレット端末の配布、学校現場への電子黒板の導入と、教育のデジタル化が進んでいる一方で、その活用については、まだ十分と言えない状況です。特に家庭学習にも活用できれば、学力向上や不登校対策などにも有効と考え、滝沢市の教育の発展のため、調査研究を行います。

【調査のポイント】

- ・タブレット端末の家庭学習での活用
- ・学校現場でのタブレット端末、電子黒板の活用
- ・児童生徒の不登校対策としての活用

所管事務調査：ICT教育について～タブレットの家庭学習の心配事は～

No.	発言一覧
1	生活のリズムが乱れないか（はまりすぎる子がいる）
2	学習と学習以外の利用のバランス・・・メディア中毒
3	読書（紙の本）離れ・・・脳科学的に前頭葉の発達と関連
4	学習以外の使用（ゲーム等）
5	メディア使用についてのマナーを徹底
6	親が管理をどうすれば良いか悩む 頭が悪くならないか
7	使用時間の管理をどのようにするか
8	使用の仕方 使用時間 兄弟の使用、本人以外の使用があるかも
9	子どもが本来の利用以外の利用をすることが心配
10	安全性（悪いサイトへの接続）
11	使用方法の徹底（使用ミス予防、故障予防）
12	利用頻度が多くなると金額が心配
13	責任の所在はどこかはっきりさせる
14	壊した時、破損時の保険は
15	持ち帰りすることでどのような力をつけたいのか
16	学習内容についてどのレベルを考えているのか
17	子どもたちの能力とか学習がわかるか
18	デジタルにネイティブな子どもたちに合っている
19	そもそもなぜICT教育、持ち帰りか
20	学力向上のためには必要
21	心配することないと思う
22	授業の効率化
23	立体的に理解できる
24	取得した知識を地域の年配の方へ教え、交流を図る
25	時代の変化に対応していくため、子どものうちから使えるようになっているのは良いと思う
26	高校生の娘が全てタブレットで宿題を提出したり、プリントは一切配られず大変苦労した （タブレット学習は）早ければ早い方が子どもは助かる
27	タブレットは便利だが使い方によると思う
28	W i - F i 環境を作らないといけない
29	W i - F i の整備は個人持ちでよいのか

No.	発言一覧
30	電源のこと 使用時間に制限がかかる
31	タブレットを家で壊さないか心配（飲み物をこぼす等）
32	依存症になるのではと心配
33	人対人での教育が減るのではないかと心配
34	文字を書く機会が減る？
35	字を書かないので、いざ書く時に忘れていそう
36	字を書く、覚えることが身につかないことも不安
37	どのような教科に使われるか 書き込んで学ぶ学習に影響しないか？
38	操作不明で学習ができなくなることはないか？
39	大人はルールを守らせることができるのか？（時間、発信の中身など）
40	ゲーム等の感覚があるのでスムーズに取り組めると思う
41	今の子どもたちはゲーム感覚で勉強できそう
42	タブレットを活用していくことのメリット・デメリットは？
43	タブレットを使用することになった理由は？ 何のためか？
44	何に有効でどんな失敗事例があるか？ 先行実施校から情報を得る
45	視力、姿勢、心が悪くならないか心配（※視力低下、目への負担懸念など）
46	本を読むことが減る？
47	小さい画面ばかりの学習で、集中力が心配
48	調べたい、見返したいetc・・・ すぐに探せないイメージがある
49	調べ事 情報の信頼性
50	リテラシー教育のため、外部の指導者を招く
51	タブレットの使い過ぎが心配
52	故障、壊してしまったときへの対応
53	壊れたら（無くしたら）個人持ち、または市？
54	充電が切れてできない！Etc・・・ 不具合時の対応で子どもとケンカしそう
55	タブレットが授業で有効に使えるように教師や保護者の研修を強化する 県大生などと連携して使い方の研修をするのもいいのではないか
56	持ち帰りが出来ることで不登校児童の学習環境の充実に向けた基本的な対策になる
57	タブレットの使い方を子どもから聞かれた場合、親の対応が十分に出来るのか心配
58	使用中の子どもの表情が分からない 何を考えているのかが掴めない環境にならないか心配
59	故障した際の補償や修繕の方法などはどうなるのか

No.	発言一覧
60	辞書を開く機会が減ることで苦労して調べて分かる環境が少なくなる タブレットに固執することで心や友達関係の育ちに弊害が生じないか
61	W i - F i 環境の整備が必要
62	タブレットの使用に集中しすぎて知識が身につかなくなるのではないか
63	家庭からタブレットを忘れると授業で使用できないこと
64	不正アクセスやゲーム、オンライン決済等の使用によるトラブル
65	宿題に取り組みやすくなるのかな？（ゲーム感覚）
66	子どもは早く家で使いたいと言っている
67	（持ち帰ったタブレットを）欠席連絡に使えないのかな（先生、親ともに負担軽減になる）
68	故障は心配
69	精密機械なので破損の対処は？
70	登下校時の破損が心配 なるべく持ち歩かなくていいように
71	家庭学習で使うなら、持ち歩かずに使うのがよいような・・・
72	取り扱い方法 壊すかも・・・！？ 子どもだけでなく親も弁償できないです
73	ゲーム機能とか悪用しないか 子どもたちの考える力が低下しないか
74	ゲーム等の楽しい面も活用させたいが、そればかりにならないように
75	家庭によって通信環境の違いもあるので、使い方で差が出ないように
76	ネット環境は？ W i - F i のある家庭とそうでない家庭との格差が生じるのが心配
77	家庭でルールを決めているが守られるだろうか（生活リズム）
78	ネット環境の各家庭ごとにルール、バラつきあるのか
79	ネットで悪い情報にアクセスしていないか 持ち帰った家での利用のルール作りが必要では
80	先生方の力量 そもそも子どもたちのペースについていけるのか？
81	ネットにつなぐことで危険な目に遭うことはないか？
82	親が指導できるの？ 親がタブレットやスマホの機能についていけず指導難となる
83	兄弟がいたずらしないか 兄弟がいる場合、どうしても触りたくなる
84	字が書けなくなりそう！？漢字離れがおきて心配
85	低学年には鉛筆で字を書く経験が必要かも・・・
86	I C T 学習と、鉛筆と紙に触れる時間のバランス
87	ブルーライト（目、健康）情緒の安定

No.	発言一覧
88	W i - F i の環境が整っていない家庭がある（補助が必要） ※複数意見あり
89	充電切れ等のトラブル等で、一斉に授業が始められないのでは
90	紙での学習とタブレットの学習と分けて考える。
91	正しく使ってほしいので、興味を持つことも大切
92	学力に差が出ないように、正しくセーブする
93	考える力が衰えるのではないか
94	漢字を書けなくなる
95	漢字アプリのドリルの答えが学校で教えているのと違う（はね、とめ、はらい等）
96	算数ができなくなるのではないか
97	タブレットのドリルは3択なので、あてずっぽうに答えてしまう
98	他人の写真を勝手にネットに載せてしまわないか
99	別の目的に使用してしまう
100	使用の時間を大切にして、姿勢も悪くならないように短時間で
101	正解のみを出して終わりの学習にならないのか
102	過程を大切にする学習が十分にできないのではないか
103	タブレットの見すぎ（勉強し過ぎではないか）
104	タブレットやスマホの長時間使用で、更に視力の低下が心配される
105	得た情報をうのみにしてしまわないか
106	セキュリティ設定の難しさ
107	持ち帰りの準備が必要
108	持ち帰り時の破損（補償がない）※複数意見あり ケースは親負担
109	毎日運べるようにして欲しい タブレットも教科書も重い
110	ギガスクール構想、いつまで続くのか いずれ持ち出しにならないか
111	コミュニケーションが取れなくなるとの心配もある
112	親が教えてあげることが減る
113	おしゃべりしなくなるが、無口ではいけないと思う
114	対面での対話が少なくなり、情報が一方通行
115	近所での対話が少なくなり、コミュニケーションがとれない
116	ガキ大将が最近いない（タブレット学習が進むにつれ、イジメにつながらないか）
117	今の子はかわいそう もっと外で遊べば良いのに
118	心配ではなく、何かできるようになる！という方法を考えていきたい
119	I T 端末、インターネットを子ども達が使うことになって視野や世界が広がる
120	文字が書けなくなるのでは
121	親もわからない

No.	発言一覧
122	使用時間の制限の仕方
123	目が悪くなるのでは
124	いじめが増えないか？
125	タブレットは不登校対策として、友達とのコミュニケーションを取る上で必要では
126	フィルタリングはきちんとかけられているのか？
127	リテラシー教育が必要
128	タブレットを使った誹謗中傷
129	世界のことを調べられるのは良い
130	社会とのつながり、人間関係の大切さ
131	孤立化させない ・ 情報リテラシー ・ 情報のコントロール ・ AI の活用
132	活用実態の見える化 ・ 十分でない要因 ・ 学びの機会の確保においては有用
133	家庭のWi-Fi環境調査が必要
134	学習ソフトの開発（市として） ・ 学校連絡等にも使えるように ・ 授業内容の共有化
135	家に持ち帰って、授業の延長になりそう ・ 家族とのふれ合いを大切にしてほしい
136	ニュースが早い
137	上手に使えるかどうか不安
138	家庭学習での活用の推進、学び
139	視力がの低下が心配
140	破損が心配、状態によって負担の仕方
141	ゲームをしないようになっていけると良い
142	ランドセルが重くなるので心配
143	情報リテラシー ・ 不登校対策
144	勉強とは別のゲームとかで使うことがあるのか。セキュリティ面で心配。使用にあたっての制限は？悪用されないようにフィルターをかける。
145	指導者のレベルにバラツキはないのか？端末の操作の習得に差がある。先日、タブレットを持ち帰り、大文字の入力の仕方がわからない！と子どもに言われ戸惑いました。アナログの親はついていけません。
146	書くことが少なくなると字がヘタになるのではないかと？タブレットって何？タブレットを使うと何がいの？親がついていけない。タブレット学習のメリット、デメリット。

No.	発言一覧
147	アナログの宿題（ノート）との併用について、親がいまいち理解していない。使い方が親より子どもの方が詳しい。たくさんもの（こと）を知るにはいいけど、“考える”ことを忘れてしまう？
148	小学校の時から使用することで、ＩＴ、デジタルの良いこと、悪いことを教育で学べるので、私はいいと思う。教諭（担任）と子どものタブレットをリアルタイムでつなぐ。
149	私の孫は３歳ですが、今はタブレットでなく、それらしいもので静かに熱中している。ほかに熱中するものがないか、将来について心配になる。
150	学習以外で使わないか。本当に宿題のためだけに使ってくれるのか。時間内に終わらない時があるのが心配。
151	子どもの視力の低下、ブルーライト、子どもの目への影響が心配。目が悪いので、これ以上悪くなるのが心配。
152	宿題を学童でやっているが、家庭でしか使用してはダメというのがあるのか。だとすると、どのように時間を作るのか。
153	どんどん使え。もっと活用しろ。そもそもタブレットが重い。算数のタブレット学習を見たが、答えまで行きつく内容部分が出てこないのが大変そう。
154	タブレットのみに捉われてしまうこと。ネット環境の不安。防犯対策。睡眠に障害が出る。タブレット学習を楽しく行っているが、夢中になりすぎて寝なくなってしまう。寝るのが遅くなってしまう。
155	学習の進め方を知りたい。タブレットの使い方。タブレットの価格は生徒一人当たりいくらになるのか。
156	パソコンを使用する環境が家庭で整っているのか。滝沢市内でＷｉ－Ｆｉ機能を無料で活用（セキュリティ含む）。過程でタブレットの学習をして、通信環境は大丈夫？
157	タブレットを持ち帰って学習させるのは有効だと思うが、家庭の環境の違いにどう対応するのか。
158	専用のケースがなく、そのままランドセルに入れて持ち歩いている。壊さないか心配。タブレットを壊してしまったら・・・壊してしまった時の対応。市でタブレットの故障、破損等を保障。
159	破損しないよう、専用カバーが欲しい。故障するのが気になる。
160	いつもは面倒くさそうにしている宿題が、効果音付きで楽しみながらできて、集中できていた気がする！情報モラル教育は低学年のうちから。
161	家で充電ができなかった。専用の充電でなくても、使用可能なタイプにしてほしい。漢字が覚えられなくなるのではないかな？授業でカバーできるなら良いが。
162	学校から自宅までの距離が遠いので壊さないか不安。タブレットと教科書の重さで大変。
163	ゲーム感覚で勉強できるので本人はよいと思うが、実際に字を書くことが成長に良いのではないかなと思う。
164	学校のＷｉ－Ｆｉ環境は十分か？
165	ブルーライトなど眼に良くないのでは

No.	発言一覧
166	タブレットのシステム制限は十分か？
167	家庭のW i - F i 環境は十分か？
168	皆が平等に使える環境が望ましい
169	タブレットのシステム制限は十分か？
170	デジタル教材は十分か？先生への訓練は十分か？
171	持ち帰ってからのセッティング(PW-10)が難しかった
172	テレビゲーム、タブレット、ユーチューブ、1日中画面、眼に悪い
173	授業参観では、先生に子どもが声をかけるなどしている様子が見られた
174	5月のゴールデンウィークに持ち帰ってきたが、特に今のところ問題は感じていない
175	デジタル任せで自分の手で何かをする、じっくり取り組むということができていない
176	本や図鑑には興味を示さないが、デジタルには群がる、本が読むのが苦手になっている
177	プログラミング教育が主流になってきているので、大人も理解できるようにしていくことが大切

令和6年度 滝沢市小中学校 I C T教育研修会 実施要項

1 目 的

- (1) 児童・生徒の資質・能力の向上のために効果的な I C T機器の活用方法を研修し、指導力の向上に資する。
- (2) この研修会をもとに各校の校内研修等につなげ、I C T機器の効果的な活用の推進を図る。

2 期 日

令和6年6月10日(月) 14:00～16:45

3 会 場

滝沢市立滝沢中央小学校 1階 多目的室・音楽室

4 参加者

	コース	参加者	人数
(1)	応用コース	校内で、I C T機器の活用を推進する立場の教員	各校1名 悉皆
(2)	基礎コース	I C T機器の活用について、基本的な取り扱いから研修したい教員	希望者(各校2名まで)

5 日 程

(1) 応用コース(1階 多目的ホール)

13:45 14:00 14:10

14:40 14:50

15:20 15:35

16:25

受付	開会行事	【事例紹介】30分 ・先進的な活用事例、効果的な活用事例の紹介 (株式会社 LoiLo)	準備等	【事例紹介】30分 ・先進的な活用事例、効果的な活用事例の紹介 (ライズ株式会社)	休憩	【協議】50分 ・I C T機器の有効な活用についての情報交流 【中学校区ごと】	閉会行事
----	------	--	-----	---	----	--	------

(2) 基礎コース(1階 多目的ホール 音楽室)

13:45 14:00 14:10

14:45

15:30 15:40

16:25

受付	開会行事	【演習①】35分 ・基本的なパソコンの操作について	【演習②】45分 ・ロイロノートの活用 (株式会社 LoiLo)	休憩	【演習③】45分 ・e ライブラリの活用 (ライズ株式会社)	閉会行事
----	------	------------------------------	--	----	--------------------------------------	------

6 携行品

- ・参加者は教職員用のタブレットを持参すること。(持ち運びには留意すること)

7 その他

本研修の参加者は、校内研究会等において、資料を配布するなど研修内容を伝講すること。

令和6年8月吉日

各 教 育 事 務 所 長 様
各市町村 教育委員会教育長様
各小・中・義務教育学校長様
各 教 育 関 係 者 様

滝沢市立滝沢第二小学校

校 長

滝沢市立滝沢東小学校

校 長

滝沢市立滝沢第二中学校

校 長

令和5・6年度 滝沢市教育委員会指定
「滝沢市小・中学校第Ⅲ期ジョイントアップ・スクール事業」
学校公開研究会のご案内

時下、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、滝沢第二中学校区3校は、令和5年度から令和6年度までの2年間、滝沢市教育委員会から小・中連携事業の指定を受け実践を重ねて参りました。本学区3校による相互理解、協力による、指導体制の充実及び小学校から中学校への円滑な接続を目指し、「学習指導」「生徒指導」における小・中の連携実践を深めているところです。

つきましては、下記により学校公開研究会を開催し、これまでの実践について皆様からご指導・ご助言を賜り、今後の指導に生かして参りたいと考えております。

ご多用の折とは存じますが、多くの皆様にご参会いただきたくご案内申し上げます。

主体的に学ぶ心豊かな児童生徒の育成

～子どもが主役の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

日 時 令和6年11月20日(水) 10:00～16:30

会 場 【午前】 滝沢市立滝沢第二小学校・滝沢市立滝沢東小学校
【午後】 滝沢市立滝沢第二中学校

日 程

		11:40		13:00		13:50		14:00		16:30	
9:30		10:00		10:45		10:55		【滝沢第二中学校】			
県体研	受 付	【滝沢第二小学校】			(受 付) ・ 移 動 ・ 昼 食	公開授業Ⅲ (50分)	移 動	全体会 ・ 分科会 県体研・県造研 は団体ごと			
		公開授業Ⅰ (45分間)	移 動	公開授業Ⅱ (45分)							
【滝沢東小学校】											
公開授業Ⅰ (45分間)		移 動	公開授業Ⅱ (45分)								

※昼食の弁当を注文される方は、滝沢第二中学校で弁当の受け取りをお願い致します。

※午後のみ参加される方は、滝沢第二中学校での受付となります。

主 催 滝沢市教育委員会



【滝沢第二小学校の公開授業】

公開授業Ⅰ 10:00～10:45

学年・学級	教科	授業者	単元名・題材名等	分科会
1年1組	国語		じどう車くらべ	国語Ⅰ
2年3組	国語		おもちゃの作り方をせつめいしよう	国語Ⅱ
3年1組	社会		地いきの安全を守る	社会
1年2組	算数		ひきざん	算数・数学Ⅰ
4年1組	理科		物の体積と温度	理科Ⅰ
3年3組	外国語		This is for you. カードをおくろう	外国語・英語Ⅰ
1年3組	音楽		がっきとなかよくなろう	音楽
6年1組	家庭科		こんだてを工夫して	家庭科
特別支援	国語		感謝の手紙を書こう	特別支援
2年2組	体育		全集中！マットの呼吸！ 「秘伝書を作成せよ！」	県体研 体育

公開授業Ⅱ 10:55～11:40

学年・学級	教科	授業者	単元名・題材名等	分科会
3年2組	国語		漢字の筆使い 「曲がり」	国語Ⅰ
4年2組	社会		自然災害に備えて	社会
2年1組	算数		かけ算(2)九九をつくろう	算数・数学Ⅰ
4年3組	理科		物の体積と温度	理科Ⅱ
5年2組	外国語		I love my town. 町のすてきなところをしようかいしよう	外国語・英語Ⅰ
5年1組	音楽		詩と音楽との関わりを味わおう	音楽
6年3組	家庭科		生活を豊かにソーイング	家庭科
特別支援	算数		5年 面積の求め方を考えよう 6年 およその面積と体積を考えよう	特別支援
6年2組	体育		MAT ～みがいて相手に伝えよう～	県体研 体育

【滝沢東小学校の公開授業】

公開授業Ⅰ 10:00～10:45

学年・学級	教科	授業者	単元名・題材名等	分科会
1年1組	算数		ひきざん	算数・数学Ⅲ
2年1組	算数		かけ算(2)九九をつくろう	算数・数学Ⅲ
4年2組	算数		面積のくらべ方と表し方	算数・数学Ⅱ
4年1組	外国語		What do you want? ほしいものは何かな？	外国語・英語Ⅱ
1年2組	図工		たいせつボックス ～工作～	県造研 小学校
6年1組	図工		わたしの感じる和 ～鑑賞～	県造研 小中連携

公開授業Ⅱ 10:55～11:40

学年・学級	教科	授業者	単元名・題材名等	分科会
3年2組	算数		円と球	算数・数学Ⅲ
5年1組	算数		くらべ方を考えよう(1)	算数・数学Ⅱ
5年2組	外国語		What would you like? ランチメニューを考えて注文しよう	外国語・英語Ⅱ
2年2組	図工		つないで つるして ～造形遊び～	県造研 小学校
3年1組	図工		ぬのでえがくと ～絵～	県造研 小学校

【滝沢第二中学校の公開授業】

公開授業Ⅲ 13:00～13:50

学年・学級	教科	授業者	単元名・題材名等	分科会
1年2組	国語		大人になれなかった弟たちに……	国語Ⅰ
3年5組	国語		AⅠは味方か？敵か？	国語Ⅱ
3年4組	社会		私たちの暮らしと経済	社会
1年4組	数学		平面図形	算数・数学Ⅰ
2年1組	数学		三角形と四角形	算数・数学Ⅱ
3年2組	数学		相似な図形	算数・数学Ⅲ
2年3組	理科		化学変化と原子・分子	理科Ⅰ
1年3組	理科		身のまわりの現象	理科Ⅱ
3年3組	英語		あなたの町を世界にPRしよう	外国語・英語Ⅰ
2年4組	音楽		箏（こと）	音楽
2年2組	家庭科		食生活の自立	家庭科
特別支援	社会		私たちの暮らしと経済 日本の諸地域	特別支援
1年1組	保健体育		器械運動 マット運動	県体研 体育
3年1組	美術		郷土の伝統工芸 漆に触れよう	県造研 小中連携

【全体会】 14:00～14:15 滝沢第二中学校 各分科会会場

研究発表 滝沢第二小学校 研究主任
滝沢東小学校 研究主任
滝沢第二中学校 研究主任

【分科会】 14:15～16:30 各会場

分科会	場所	助言者
国語Ⅰ	1年2組	盛岡教育委員会 主任指導主事
国語Ⅱ	3年5組	盛岡教育事務所 主任指導主事
社会	3年4組	盛岡教育事務所 主任指導主事
算数・数学Ⅰ	1年4組	盛岡教育事務所 指導主事
算数・数学Ⅱ	2年1組	紫波町教育委員会 主任指導主事
算数・数学Ⅲ	3年2組	滝沢市教育委員会 主幹兼主任指導主事
理科Ⅰ	第1理科室	滝沢市教育委員会 主任指導主事
理科Ⅱ	第2理科室	盛岡市教育委員会 指導主事
外国語・英語Ⅰ	3年3組	雫石町教育委員会 主任指導主事
外国語・英語Ⅱ	3年1組	盛岡教育事務所 主任指導主事
音楽	1年1組	岩手町教育委員会 指導主事
家庭科	2年2組	八幡平市教育委員会 主任指導主事
特別支援	PC室	盛岡教育事務所 教諭兼指導主事 (特別支援教育エリアコーディネーター)

14:00～※各団体ごとの動きとなります

県体研 体育	体育館	盛岡教育事務所 主任指導主事 盛岡教育事務所 主任指導主事
県造研 図工 (小学校部会)	被服室	住田町立有住小学校 校長 宮古教育事務所 指導主事
県造研 図工・美術 (小中連携)	美術室	岩手県立総合教育センター 主任研修指導主事 二戸市教育委員会 指導主事
県造研 講演会	15:30～ 2階集会室	【講師】昭和学院短期大学副学長／人間生活学科長 人間生活学科・こども発達専攻教授

【参加申し込み(滝沢市外用)】

【注意】滝沢市内の小・中学校の申し込みは、こちらのフォームからではなく、それぞれの学校で取りまとめて直接事務局までお申し込みください。

10月18日(金)までに、右の「QRコード」にて申し込みをお願いします。

※県造研・県体研の各最終案内に掲載されるQRコードは右のQRコードと同じで、全て共通となっています。

【11月20日開催】令和6年度滝沢市ジョイントアップ・スクール事業学校公開研究会・岩手県体育教育研究会盛岡大会・岩手県造形教育研究大会滝沢大会(図画工作・美術)参加申込フォーム



【小学校お問い合わせ】

滝沢第二小学校内

担当：[redacted] (副校長)
住所：〒020-0611 滝沢市巣子 156-8
電話：019-688-4002
FAX：019-688-7178

滝沢東小学校内

担当：[redacted] (副校長)
住所：〒020-0627 滝沢市狼久保 795-1
電話：019-688-6602
FAX：019-688-6605

【中学校お問い合わせ】

滝沢第二中学校内

担当：[redacted] (副校長)
住所：〒020-0611 滝沢市巣子 152-91
電話：019-688-4907
FAX：019-688-7160

【その他】

- ・昼食の弁当(飲み物付き1,000円)の申し込みを承ります。
※上記QRコードで申し込みの上、当日、滝沢第二中学校において、代金と引換にお弁当をお受け取り下さい。
※やむを得ず、急遽欠席となる場合でも弁当を申し込みされた方には代金をお支払い頂きます。
※昼食は、滝沢第二中学校体育館をご利用下さい。滝沢第二小学校・滝沢東小学校には、昼食会場・控室はありません。
- ・上履きを各自ご持参下さい。
- ・駐車場は各会場の駐車場をご利用下さい(※天候の状況によっては制限を設ける場合もあります)。
【注意】滝沢市内の小・中学校の駐車場利用については、別途ご連絡致します。

